

2025 年 9 月 19 日

メガソーラーにおける地域との共生・環境への配慮に関する声明

一般社団法人 再生可能エネルギー長期安定電源推進協会
代表理事 佐藤 厚範

一般社団法人 再生可能エネルギー長期安定電源推進協会（以下、REASP）は、近時報道されているような一部の事例をもってメガソーラー全体が望ましくないかのような風潮が生じていることに対し、懸念と深い遺憾の意を表明いたします。

法令を遵守することは、すべての事業者にとって当然の責務であり、これを怠る事業者による不適切な開発行為や事業運営は、決して容認されるものではありません。再生可能エネルギーの普及を担う事業者は、法令遵守はもとより、地域の皆さまと信頼関係を築き、共に協調しながら事業を推進する姿勢が求められます。

REASP においても、再生可能エネルギーが、真に社会に受け入れられる存在となるためには、地域との共生や環境への配慮が不可欠であると考えています。

このような姿勢を明文化し、さらなる透明性と信頼性を確保するために、地域との共生や環境への配慮を重視した開発ポリシー・行動指針の策定を検討しており、公表する予定です。

REASP は、今後も地域との対話を一層重視し、再生可能エネルギーの拡大を着実に進めることで、2050 年カーボンニュートラルの達成に寄与してまいります。

以上